

## ぼらぶら 月間情報

2022  
1月

- : プラザ催しなど
- : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ぼらぶら 休業日

日	曜日	催し物
1	土	
2	日	年始休み
3	月	
4	火	市民活動センター休館日
5	水	
6	木	
7	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	育児ファミサポ ファミサポってなあに講座 ●
12	水	
13	木	託児ボランティア養成講座 (初回・要申込) ●
14	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
15	土	パソコン定期相談 ▲
16	日	きらきら書道 ▲
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	市民活動センター休館日
21	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
22	土	きょうだいかい ふたつばクローバー ▲
23	日	観て！みて！人形劇！ ■
24	月	BANBANしゃべろう会 ■
25	火	
26	水	
27	木	育児ファミサポ ファミサポ交流会 ●
28	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
29	土	
30	日	

### 高齢者ボランティアポイント事業 説明会

市内の施設でボランティアすることで、地域貢献や社会参加をしてみませんか？三木市内に住む65歳以上のみなさん、お待ちしております。

- 日 時：毎週金曜日 9：00～10：00
- 場 所：三木市立市民活動センター
- 申込先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

楽しく Tea time を過ごしませんか？

きょうだいかい ふたつばクローバー

障がいのあるごきょうだいをおもちの方のきょうだいかい。同じようでも一人ひとり思いがちがうから、皆それぞれの気持ちを話しましょう。

- 日 時：1月22日㊦ 17：00～18：30  
奇数月第4土曜日(参加費：100円/人)
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

### 観て！みて！人形劇！

画面での映像を観ることが多い子どもたちに、生の人形劇を楽しんでもらいたい！三木市内で活動する3つのグループの公演を開催します。※新型コロナウイルス感染症予防に配慮して開催します。

- 日 時：1月23日㊦ 10：30～12：00 (開場10：15)
- 会 場：三木市立市民活動センター大会議室
- 入場料：無料
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

失語症者とその家族の会

### BANBANしゃべろう会

BANBANしゃべろう会は、失語症の方とその家族が情報交換を行いながら交流し、気軽に集える場です。お気軽にお越しください。

- 日 時：1月24日㊦ 14：00～16：00
- 会 場：三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘
- 参加費：100円
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090



## ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

(発行)  
三木市社会福祉協議会  
ボランティア活動プラザみき  
〒673-0403  
三木市末広 1-6-46  
(市民活動センター内)  
TEL 0794-83-0090  
Fax 0794-82-6666  
e-Mail mvsc@miki.or.jp

# 1

Vol.290  
2022.1.1

### 共感する活動を直接応援できる寄付のしくみ

## みきボランティア活動応援 共感ファンド

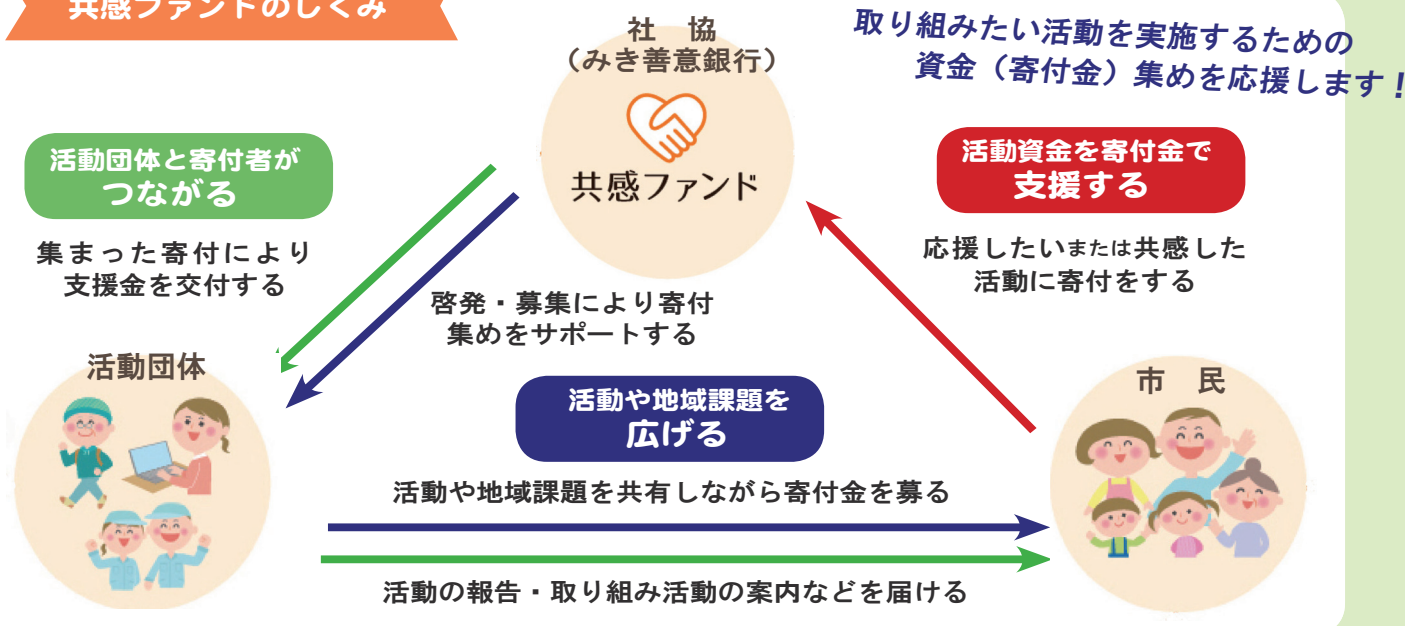
### 応募団体募集

《応募期間》

R4. 1/12 (水)

～ 3/31 (木)

共感ファンドのしくみ



共感ファンドでは、寄付者が“共感”する活動を選んで寄付します。

その“ねらい”とは？

- その1. ボランティア・市民活動団体がやってみたい活動の資金を得られる！
- その2. やってみたい活動の背景にある地域の課題を、多くの方々と共有できる！
- その3. 寄付もひとつの活動。やってみたい活動の仲間が増える！

これまでに 活動を実現した団体があります！

社会を変える つながりアート展を美術館で開催したい！

これまでの実績等は ホームページで チェック！

過去の応募団体の インタビュー等を 動画でチェック！

### 応募をお考えの団体のための 説明会を開催！

応募できる団体要件や対象とする事業などの概要説明や、過去の実績をご紹介します。応募を検討されている団体の個別の相談にも応じますので、ぜひご参加ください。

- 【日時】① 1/27 (木) 10：00～12：00
- ② 2/ 5 (土) 13：30～15：30
- ③ 2/12 (土) 10：00～12：00

【会場】三木市立市民活動センター

※各回とも内容は同じです



## いよいよ始まる細川地域学校！ ～ワクワク感をつめて、みんなで地域をつくる～

### ◆ 住民による、住民のための「細川地域学校」がスタート

細川地域学校の運営は、細川町豊かな町づくり推進協議会が策定した『細川地区住民つながり計画』の取り組みの一つとして、令和3年4月から始まりました。つながり計画では、「人と人がつながり、自分も地域も元気な暮らしがある細川」、「伝えたい方に情報が伝わる細川」の2つの目標達成を目指します。細川地域学校のキーワードは“人づくり”。住民が興味や関心事を楽しく学びながら地域課題と向き合い、ともに学ぶ人同士のつながりを促しながら、「こんな細川にしたい！自分も参画するぞ！」という人を育み、増やしていくことがねらいです。また、細川地域学校では細川町内に在住・在勤の方（または細川町や三木市によく出入りする方）が先生役を務めます。周囲の人たちが「あの人がいい！」という身近な人を通して学ぶことで、住民が地域のよい所を見つけたり、愛着が深まったりすれば、つながり計画の目標達成に向けて進んでいけます。

ボラ・プラみぎの  
アクション・レポート  
(17)  
～市民のチカラ～

### ◆ 細川に密着した“なんでもあり！”の学校に

細川地域学校には運営委員会があり、そのメンバーには長く細川町に住み、活動してきた方々に加え、細川町に魅力を感じてやってきた1ターン（アイターン：出身地とは違う地方に移住して働くこと）の若い世代がいます。地域学校の運営が始まった当初、どのような場にするかといった議論の中では、細川に住んでいるとかえって気づかない面白みや、細川だからこそ叶いそうな夢がたくさん出てきました。例えば「農機具の扱いがすごく上手な人がいる。教えてほしい」、「インターネットを使って情報発信するのが今どき。細川をもっとPRしよう」、「野菜など食の特産物が多い。マルシェや食堂なんかをやればいいかも」などなど。これだけ聞くと夢の出し合いのようですが、背景には農業の担い手不足やインターネット社会への適応、電子レンジでチンしたおかずばかり食べている独居高齢者が増えた現状があり、細川町の地域課題を反映しています。

そんな協議を経て、昨年9月、第1弾の講座となったのが「タブレットでできる動画作成・動画配信」（全2回）です。対象は星陽中学校の学生さんで、講師は三木市在住の映像作家、山田勇人さんです。5名の参加者がそれぞれ作りたい動画のテーマを決め、絵コンテを描き、撮影し、その映像を編集して約30秒の動画を完成させました。「やってみたい」と「難しそう」が入り混じった気持ちの参加者がほとんどでしたが、試行錯誤しながらもこだわりいっぱいの映像ができ、達成感をにじませました。今後この5人が細川町の情報発信の拠点『ほそかわ情報局』の局員として、地域の出来事や住民と共有したいニュースを広く知らせるための力になってくれることになりました。

### ◆ “おもしろそう” から始まる学びとつながり

学校と聞くと、枠にはまったどこか堅苦しいものを思い浮かべる人がいるかもしれませんが。それとはかけ離れた細川地域学校は、ほんの少しでも“おもしろそう”と思うだけで参加でき、やってみたかったことが実現できたり、新たな視点が広がったりする場です。少子高齢化や就労期間の延長など、社会問題が地域に与える影響は数多くありますが、その地域をよく知る住民、その地域が大好きな住民が地域に関心を持ち、つながり、学び合ったり話し合ったり、ともに取り組むことで思わぬ方向が開けるのかもしれません。何事も、面白くワクワクするから活発になり、長続きするものです。これからも細川地域学校の“おもしろそう”に注目したいと思います。



ぜひアクセスを /  
公式ホームページ  
QRコード



ぜひ登録を /  
公式LINE  
QRコード



一緒に活動しませんか？

メンバー募集

### みき音楽療法ボランティア「そよかせ」

音楽には不安や痛みを軽減したり、精神的な安定をもたらすなどの力があり、心身の障がいにより会話が難しい方でも、音楽を通してコミュニケーションをとることができます。

そんな音楽の特性をもちいて、さまざまな対象者へ癒しや楽しみを届ける活動をしています。

- 主な活動内容  
音楽療法を取り入れたグループセッションによる活動  
定例会議（月2回）
- 主な訪問先  
高齢者施設、ふれあいサロン、その他



特別な資格は必要ナシ！音楽が好きで、歌が歌えるだけで大丈夫！  
コロナ禍ですますます求められる活動を、さらに積極的に行うために、私達と一緒に活動しましょう。

【問い合わせ・申し込み先】  
ボランティア活動プラザみき ☎ 0794-83-0090 まで

そろそろ準備ください

お知らせ

### 令和3年度 県民ボランティア活動助成 交付申請

今年度エントリー（事前申込）されている団体は、以下の条件を満たした時点で申請できます。

- 10日以上（事業）を実施  
※ R3.4月1日～R4.3月31日までの間
- 5万円以上の対象経費の支出

令和3年10月にお送りした「助成金交付申請書兼請求書」の下書き用紙に必要事項を記入のうえ、提出先までご持参ください。

担当者が内容の確認をしたのち、清書用紙をお渡します。清書用紙および助成金振込先通帳のコピーをご提出いただきます。

「条件を満たせないかもしれない…」等の不安があれば、担当者にご相談ください！

【問い合わせ先】ボランティア活動プラザみき  
☎ 0794-83-0090 担当：野村まで

Vol.5

## コロナ禍だけど頑張るボランティア・市民活動団体を紹介 みきチャイルドシート市民ネットワーク

三木市と協働で、不要になったチャイルドシート（以下、シート）を譲り受け、必要な人に貸し出す活動をしています。ほんの少しのお出かけでも、小さなお子さんの同乗するドライブでは安全対策を万全にしたいものです。

12月半ばの貸し出し日、市役所の北玄関には事前に予約した方々が集まりました。到着順に受付を済ませ、気に入ったシートを選びます。ご自分で取り付けられる方はすぐ、また、取り付けを希望される方は取り付けを終えると、それぞれ貸し出しの手続きをして帰って行かれました。必要があればスタッフがお子さんの年齢や体重を聴き、最適なシート選びを手伝います。取り付けはご自分でされるのが基本ですが、希望



のシートが貸し出されました。

これから生まれるお腹の赤ちゃんのためにという若いママさんは、取り付け作業を真剣な面持ちで見守り、年末年始に県外から帰省するお孫さんのためにというご夫婦は、お出かけの予定を嬉しそうに話してくださいました。この活動を通してメンバーから感じるのは、安全運転への願いはもちろんのこと、これから子育てに奮闘する若い世代へのエールや、家族と大切な時間を過ごす祖父母世代への寄り添いです。また、使い終わって「長い間ありがとう」と笑顔で返却に来て下さる方からは、お子さんの成長を感じ取ることができ、活動のやりがいが増え、いつどんな時でも求められるものだと思います。